

今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！
詳しくは各ホームページをご覧ください。

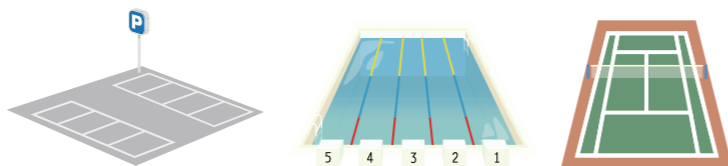
01 令和8年4月から公共施設などの料金を改定します



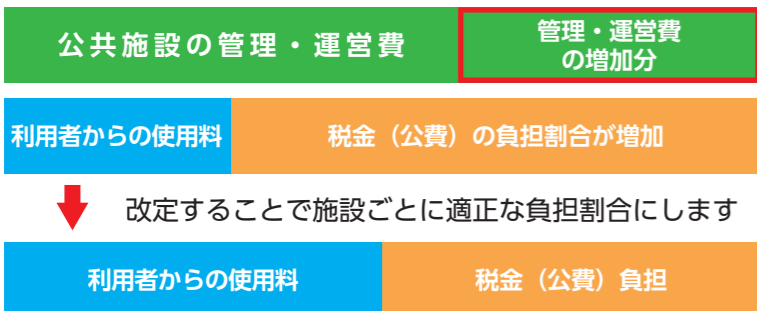
市の公共施設やサービスの運営にかかる経費は、多くが税金(公費)によって賄われています。この税金は、施設やサービスを利用しない方からも支払われているため、実際に利用する方に使用料や手数料をいただくことで、「利用する方」と「利用しない方」の負担の公平性を図っています。市では、消費税の改正によるものを除き16年間据え置き

ていましたが、近年の物価高騰に伴い、施設やサービスにかかる経費が大幅に増加したことで、税金(公費)の割合が大きくなっています。そこで今回、施設の使用料や手数料を見直し、令和8年4月から改定します。使用料や手数料が改定となる施設や改定後の料金など詳しくは、財政課HPをご覧ください。

◆ 本来の負担割合 (イメージ)



◆ 現在の負担割合 (イメージ)



↓ 改定することで施設ごとに適正な負担割合にします

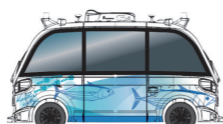
※考え方のイメージ図です。実際の負担割合は施設の種類ごとに異なります。

このほか、証明書発行など一部の手数料も改定します。利用者の方から適正な料金をいただくことで、新しい時代に即した市民サービスを提供していきます。



【問い合わせ】 財政課 ☎ 823-9408

02 自動運転バスの実証運行が始まります



※車両イメージ

NTT西日本株式会社が総務省「地域DX推進パッケージ事業(自動運転レベル4検証タイプ)」を活用し、市内で自動運転バスの実証運行を行います。事前予約いただければご乗車できます。また、自動運転バスは低速走行や急停車を行う場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

- ▶ **定員** 1便当たり10人程度(予約先着順)
※運行バスによる
- ▶ **料金** 無料
- ▶ **ほか** 12月3日(水)から予約受け付けを開始します。乗車された方はアンケートへご協力いただけます。

予約専用アプリ「バスきて」のダウンロードはこちらから



バスきて



Android版



iOS版

【問い合わせ】 交通戦略課 ☎ 803-4317



高知市消防団は一般市民で団員が構成される消防機関です。普段は、仕事や学業、家事などをしながら消防団の活動に励み、このまちを守っています。

DATE ■ 2025年10月

高知市の SNS

【公式】高知の街路市(日曜日)@高知市商業振興課 [kochi_gairoichi_official]

300年以上の歴史をもつ高知の街路市。日曜日・火曜日・木曜日・金曜日それぞれの情報を発信しています。日々移り変わる新鮮な「旬」をお求めに、日常のお買い物もぜひ街路市へ！



フォローはこちらから▲

高知市の人口と世帯

令和7年11月1日現在

人口(前月比) ▶ 30万8,933人(-188人)

男 14万4,543人(-66人)

女 16万4,390人(-122人)

増加 出生158人 転入等456人

減少 死亡334人 転出等468人

世帯(前月比) ▶ 16万3,705世帯(-42世帯)



増加 転入344世帯 その他146世帯

減少 転出266世帯 その他266世帯

市らんく家の元気人! Vol.33

「人」を育てて高知のスポーツ界に貢献を



profile >>> 池田 篤史 Ikeda Atsushi (26)

大阪府大阪市出身。小学生から水泳、サッカー、陸上などさまざまなスポーツに打ち込み、大阪体育大学で教員をめざす。高知の暮らしは「自然が豊かで生活面での不自由は感じない」と気に入っている。妻と娘の3人家族。

学校法人龍馬学園のスポーツ健康学科で教員を務める池田さん。大阪体育大学大学院でスポーツマネジメントを学んでいた時に、指導教員の紹介で同学科の創設メンバーとして、大学院2年生になる直前の令和4年3月に大阪から移住しました。

移住してからの1年は学科創設の準備をしながら、リモートで大学院卒業のための単位を取得するなど、猛烈に忙しい日々。そんな中でも、小学・高校時代に打ち込んだサッカーの社会人チームに入り、プライベートでもいろいろな方とのつながりが生まれたそうです。

現在、教員としては3年目。自身の専門分野であるスポーツマネジ

メントで、地域とスポーツの関わり方や、プロスポーツチームの運営、地域レベルからオリンピックレベルまでのイベントの課題など、幅広い知識を学生に教えています。「高知のスポーツ界を支える人材を育てたいですね。そのためには、スポーツマネジメントという分野をもっと知ってもらえたら」と語ります。

この11月にお子さんがちょうど1歳を迎えた池田さん。公私にわたって「育てる」ことを通じ、「自身の成長も実感できています」と、爽やかな笑顔を見せてくれました。



▶ 休日に家族と一緒に過ごす池田さん。